

令和5年度 学校評価 自己評価書 (1学期)

1 学校の重点目標

- 「自尊感情」「自己有用感」の育成～どの子供も心から「学校が楽しい」と思える中山小を目指して～
 ○子供たちの夢の実現につながる確かな学力の定着～ラスト10分のチャレンジ～
 ○体力の向上・健康的な生活習慣づくりの指導の充実～チャレンジかごしまへの取組・むし歯治療率85%～

2 課題と解決策 (評価の基準 4:達成率80%以上 3:60～79% 2:40～59% 1:39%以下)

子供像・ 重点課題	評価項目	職員の評価 (1年前との比較)	評価結果と2学期の改善方策
思いやりの ある情操豊 かな子供	1 元気な挨拶・会釈の指導	2.6 (+0.2)	・以前より改善されているが、まだ個人差 が大きいので教師が率先して挨拶する。
	2 自尊感情・自己有用感を育てる 学級づくり	2.9 (+0.1)	・子供たち同士の褒め合いや教師による 称賛の場をさらに増やしていく。
	3 朝読書・図書室利用の推進によ る心の安定	3.1 (+0.1)	・本を読む時と場所を提供していくこと で、さらに改善を図る。
	4 「揃える」指導の工夫・徹底 (スリッパ・机・いす)	2.5 (-0.1)	・教師による継続的な声かけと称賛に努 めていく。
自ら考え共 に学ぶ子供	5 主体的・対話的で深い学び	2.9 (±0.0)	・ICT機器も含めた教材研究や情報交換の 場の確保に努める。
	6 ラスト10分のまとめ・習熟の 時間の確保・確実な見届け	2.8 (±0.0)	・おさえるべきことをしっかりおさえ、習 熟を図る時間を確保する。
	7 授業と連動した家庭学習の充実	3.3 (+0.1)	・保護者に、今学校で習っていることを通 信等で発信し、関心をもってもらう。
	8 学習の準備等の生活習慣の確立	3.0 (+0.1)	・メモを活用したり、通信等で呼びかけた りしていく。
進んで最後 までやり抜 く子供	9 教科体育や自主的な体力づくり	3.0 (+0.3)	・本校の各校一運動「縄跳び」を中心とし た体力づくりの時間を設定する。
	10 ルールやマナーを守った安全な 登下校の指導の徹底	2.8 (-0.1)	・ルールの意義を理解させたうえでその 遵守を促していく。
	11 むし歯治療率85%の推進	3.1 (+0.2)	・家庭の問題ではあるが、継続した声かけ を行うなど啓発していく。

3 2学期に向けての取組

- あいさつに関しては、個人差も大きいので、教師側から率先して挨拶していくなど、積極的な働きかけ
を行っていく。
- スリッパや靴など、揃っているかどうかを教師が確実にチェックしていくようにする。
- ルールやマナーの意義から指導を行い、よりよい人間関係を築けるよう教育活動を行う。
- 運動会や持久走大会、普段の縄跳びなど、自分なりの目標をしっかりとたせることで、意欲付けを図っ
ていく。